

総代会 会員一人ひとりのご意見を、金庫経営に反映させていただきます。

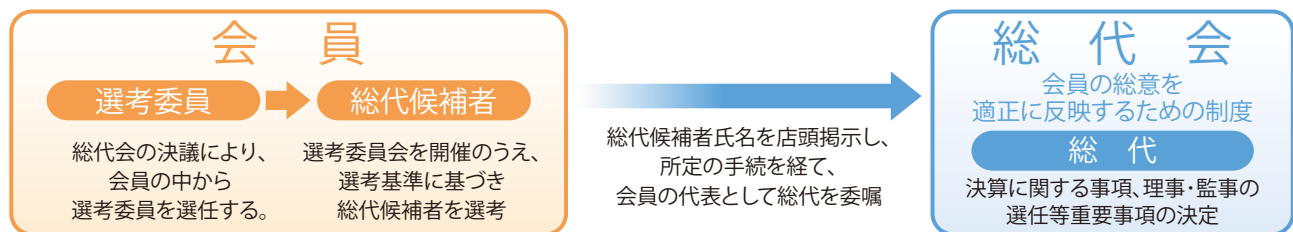
総代会制度について

信用金庫は、会員同士の「相互信頼」と「互恵」の精神を基本理念に、会員1人ひとりの意見を最大の価値とする協同組織金融機関です。したがって、会員は出資口数に関係なく、1人1票の議決権を持ち、総会を通じて当金庫の経営に参加することとなります。しかし、当金庫では、会員数がたいへん多く、総会の開催は事実上不可能です。そこで、当金庫では、会員の総意を適正に反映し、充実した審議を確保するため、総会に代えて総代会制度を採用しております。

この総代会は、決算、取扱業務の決定、理事・監事の選任等の重要事項を決議する最高意思決定機関です。したがって、総代会は、総会と同様に、会員1人ひとりの意見が当金庫の経営に反映されるよう、選任区域ごとに総代候補者を選考する選考委員会を設け、会員の中から適正な手続きにより選任された総代により運営されます。

また、当金庫では、総代会に限定することなく、日常の事業活動を通じて、総代や会員とのコミュニケーションを大切に、さまざまな経営改善に取り組んでおります。

なお、総代会の運営に関するご意見やご要望につきましては、お近くの営業部店までお寄せください。



総代とその選任方法

(1) 総代の任期・定数

- ・総代の任期は3年です。
- ・総代の定数は、50人以上80人以下で、会員数に応じて各選任区域ごとに定められております。ただし、現在は暫定措置として、合併前の2金庫それぞれで定められた選任区域および選任区域ごとの総代の定数を合わせ、170人以内としております。(ただし平成31年5月の次期改選期まで)

なお、平成29年6月1日現在の総代数は164人で、会員数は18,805人です。

(2) 総代の選任方法

総代は、会員の代表として、会員の総意を当金庫の経営に反映する重要な役割を担っております。そこで総代の選考は、総代候補者選考基準(注)に基づき、次の3つの手続きを経て選任されます。

1. 総代会の決議により、会員の中から総代候補者選考委員会を選任する。
2. 選考委員会を開催のうえ、総代候補者選考委員会が総代候補者を選考する。
3. 上記2により選考された総代候補者を会員が信任する。(異議があれば申し出る)

(注) 総代候補者選考基準

1. 当金庫の会員でなければならない
2. 地域における信望が厚く、総代としてふさわしい人物であること
3. 信用金庫の使命と理念をよく理解し、金庫との取引も良好であること
4. 地域の事情に明るく、金庫に対する協力者であること
5. 事業者である場合は、経営内容が良好であること

〈総代が選任されるまでの手続きについて〉

地区を9区の選任区域に分け、各選任区域ごとに総代の定数を定める。

※平成31年5月の改選期までに選任区域および総代定数を新たに定める予定です。

1 総代候補者選考委員の選任
 1. 総代会の決議により、選任区域ごとに会員のうちから選考委員を委嘱
 2. 選考委員の氏名を店頭に1週間以上掲示

2 総代候補者の選考
 1. 選考委員が総代候補者を選考
 2. 理事長に報告
 3. 総代候補者の氏名を、店頭に1週間以上掲示
 4. 上記掲示について北海道新聞に公告

異議申出期間(公告後2週間以内)

3 総代の選任
 会員から異議がない場合または選任区域の会員数の1/3未満の会員から異議の申出があった総代候補者
 ↓
 当該総代候補者が選任区域の総代定数の1/2以上
 ↓
 理事長は選任された候補者に総代を委嘱
 ↓
 総代の氏名を店頭に1週間以上掲示

選任区域の会員数の1/3以上の会員から異議の申出があった総代候補者
 ↓
 当該総代候補者が選任区域の総代定数の1/2未満
 ↓
 再選考を行わず欠員

他の候補者を選考

第74回通常総代会の決議事項

第74回通常総代会において、次の事項が付議され、それぞれ原案のとおり了承されました。

第74回通常総代会議案

(1)報告事項

第73期(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)業務報告、貸借対照表および損益計算書の内容報告の件

(2)決議事項

- 第1号議案 優先出資の買入消却の件
- 第2号議案 剰余金処分案承認の件
- 第3号議案 理事14名選任の件
- 第4号議案 退任理事に対する退職慰労金贈呈の件
- 第5号議案 定款第15条に基づく会員除名の件

総代の氏名 ●平成29年6月1日現在(敬称略・五十音順) ※氏名後の丸数字は総代の就任回数

《旧江差信用金庫の選任区域から選出された総代》

小計72名

選任区域	人数	氏名
江差地区 江差町	9名	岡前田 茂男③ 紺谷 健一⑧ 高岡 広明③ 田島 元③ 田畑 昌伸⑤ 樋口 英俊④ 憲男④ 万年 雅利⑤ 室谷 元男⑥
上ノ国地区 上ノ国町	8名	草間 貞一⑩ 小林 恭平⑧ 小林 誠③ 谷口 功⑩ 福士 秀彦④ 古館 幹雄⑤ 横山 栄一③ 若狭 正仁①
熊石地区 八雲町、せたな町	4名	佐藤 幸弘⑤ 島谷 喜人⑨ 田中 裕④ 宮田 千秋④
乙部地区 乙部町	6名	阿部 忠治⑤ 大坂 裕康③ 工藤 勝仁① 近藤 宗司⑥ 田中富士雄⑤ 中道 照幸⑤
厚沢部地区 厚沢部町	7名	鈴木 祥司⑥ 鈴木 満紀⑩ 能登谷謙一⑦ 福島 和雄④ 前井 敏弘③ 森藤 実④ 山田 工③
福島地区 福島町、木古内町、知内町	6名	上嶋 利洋③ 平野 武実⑥ 棟方 忍③ 山辺十三寿⑧ 湯浅 章⑨ 吉田 隆悦②
奥尻地区 奥尻町	6名	明上 雅孝② 石川 克己⑥ 越森 修平② 辻 和博③ 干場 明① 三上 勝廣④
函館地区 函館市、北斗市、七飯町	23名	飯田 善樹① 大竹 昌尚④ 國立 金助⑤ 佐藤 征次⑨ 島本 肇⑤ 菅原 徹⑥ 高野 元宏① 竹内 薫⑦ 豊田 千春④ 永井 英夫③ 福西 秀和⑦ 米塚 茂樹④ 渡邊 和輝② 渡邊 宏海② 安藤 栄継④ 石崎 幸男③ 伊藤 道雄⑥ 熊谷 孝之⑤ 佐々木博史⑪ 床鍋 喜雄⑥ 堀 英二② 本庄 寛治⑥ 矢口 政則①
松前地区 松前町	3名	中江 清隆④ 早瀬 智幸③ 松尾 佳清⑤

※熊石地区のせたな町は旧瀬棚町・旧北松山町を除く

《旧函館信用金庫の選任区域から選出された総代》

小計93名

選任区域	人数	氏名
第1区 函館市(入舟町ほか)	13名	石橋多喜雄⑦ 梅本 覚次⑰ 梶原 健司⑤ 金木 茂治⑩ 久保 幸三⑥ 齋藤 光子⑭ 須田 新崇⑭ 竹田 青司② 新田 朗彦⑦ 藤本鶴美④ 本郷 嘉彦⑪ 宮崎 昌① 宮崎あけみ②
第2区 函館市(中島町ほか)	11名	青木 善一③ 五十嵐 稔⑥ 小坂 三男⑦ 齊藤 一三⑬ 鈴木 守⑦ 田中孝太郎⑤ 谷川 栄樹⑤ 中里 好之⑦ 橋本 範行① 早川 勝紀⑪ 原 隆俊⑩
第3区 函館市(海岸町ほか)	7名	木村 孝二⑥ 佐藤 研二⑲ 玉津 真史⑫ 港工業株式会社⑰ 吉田 勤⑫ 吉田 直人⑬ 渡部 二康⑥
第4区 函館市(湯浜町ほか)	12名	相川 良夫④ 岡村 秀康⑯ 長内 則明⑥ 佐藤 知寿① 柴田 満雄① 菅井 幸光⑪ 土谷 健治⑧ 堤 良夫① 戸沼 平八⑧ 中浜 一義⑦ 野口 等③ 山矢 宏美⑬
第5区 函館市(大川町ほか)	7名	石川 昭信③ 大越 信幸⑨ 柏葉 孔⑬ 川瀬 武夫⑩ 肥田 耕作② 村上 隆樹③ 森崎 幹子⑮
第6区 函館市(富岡町ほか)	10名	荒木幸次郎① 安保裕一郎⑪ 石田 勝義① 岩館 一則⑥ 角田 隆芳④ 北川 繁① 小林 政春⑥ 瀧田 一幸⑦ 出戸 秀光⑥ 水島 伸一②
第7区 北斗市	10名	石崎 幸男⑨ 小野 精一① 金澤 賢一⑤ 齊藤 紘⑧ 佐藤 悦郎⑥ 澤田 龍① 武田 真② 時田 茂④ 二井田 守⑤ 福島 忠志④
第8区 上磯郡木古内町	4名	北島 孝雄⑦ 手塚 通隆③ 西根 貞光⑤ 廣瀬 雅一①
第9区 上磯郡知内町、松前郡松前町ほか	4名	奥山 茂① 齋藤 毅③ 澤岡 孝彌⑧ 繁田 一義②
第10区 亀田郡七飯町、茅部郡森町ほか	11名	秋田 誠子⑤ 大清水新一⑬ 川尻 淳一④ 川又 修治③ 小泉 真⑦ 財津 茂實⑤ 佐藤 哲司⑤ 林 一哉⑤ 原子 秀康⑧ 丸山 量⑫ 横田 有一⑥
第11区 函館市(小安町ほか)	4名	斉藤 明男⑧ 佐々木善昭⑤ 高木 保寿⑤ 中村 陸三②

※選任地区の詳細は10ページに記載しております。

合計164名

総代数の合計が、旧2金庫の小計を合算したもののよりも1名少なくなっておりますが、これは旧2金庫において重複して選出された総代1名について調整したためです。

平成31年5月の次期改選期に合わせて旧2金庫の選任区域を統合し、新たな選任区域を定める予定です。

総代選任区域

第1区	函館市(入舟町、船見町、弥生町、弁天町、大町、未広町、元町、青柳町、谷地頭町、住吉町、宝来町、東川町、豊川町、大手町、栄町、旭町、東雲町、大森町、松風町、若松町、千歳町、新川町、宇賀浦町)
第2区	函館市(中島町、千代台町、堀川町、日乃出町、的場町、時任町、人見町、金堀町、広野町、上新川町、高盛町、杉並町、本町、梁川町、五稜郭町、柳町、松陰町、乃木町、柏木町、川原町、深堀町、駒場町、本通2~3丁目)
第3区	函館市(海岸町、大縄町、松川町、万代町、浅野町、吉川町、北浜町、港町1~3丁目、追分町、亀田町、白鳥町、八幡町、宮前町)
第4区	函館市(湯浜町、湯川町1~3丁目、戸倉町、榎本町、上野町、高丘町、滝沢町、見晴町、鈴蘭丘町、上湯川町、銅山町、旭岡町、西旭岡町1~3丁目、鱒川町、寅沢町、三森町、紅葉山町、庵原町、亀尾町、米原町、東畑町、鉄山町、蛾眉野町、根崎町、高松町、志海苔町、瀬戸川町、赤坂町、銭亀町、中野町、新湊町、石倉町、古川町、豊原町、石崎町、鶴野町、白石町、古部町、木直町、尾札部町、川汲町、安浦町、白尻町、豊崎町、大船町、双見町、岩戸町、花園町、日吉町1~4丁目、山の手1~3丁目)
第5区	函館市(大川町、田家町、富岡町1丁目、石川町、桔梗町、桔梗1~5丁目、西桔梗町、昭和町、昭和1~4丁目、亀田本町、亀田港町)
第6区	函館市(富岡町2~3丁目、中道1~2丁目、本通1・4丁目、鍛冶1~2丁目、陣川町、陣川1~2丁目、神山町、神山1~3丁目、東山町、東山1~3丁目、美原1~5丁目、赤川町、赤川1丁目、亀田中野町、北美原1~3丁目、水元町、亀田大森町)
第7区	北斗市
第8区	上磯郡木古内町
第9区	上磯郡知内町、松前郡松前町、松前郡福島町、松山郡江差町、松山郡上ノ国町
第10区	亀田郡七飯町、茅部郡森町、茅部郡鹿部町、二世郡八雲町(旧熊石町地区を除く)
第11区	函館市(小安町、小安山町、釜谷町、汐首町、瀬田来町、弁才町、泊町、館町、浜町、新二見町、原木町、丸山町、日浦町、吉畑町、豊浦町、大洞町、中浜町、女那川町、川上町、日和山町、高岱町、日ノ浜町、古武井町、恵山町、柏野町、御崎町、恵山岬町、元村町、富浦町、島泊町、新恵山町、絵紙山町、新八幡町、新浜町、銚子町)

総代の業種別・年齢別構成

《職業別構成》

法人・法人代表者	141人(85.9%)
個人事業主	12人(7.3%)
個人	11人(6.7%)

《年齢別構成》

40代	11人(6.7%)
50代	25人(15.3%)
60代	80人(49.0%)
70代以上	47人(28.8%)

《業種別構成》

製造業	18人(11.7%)
建設業	46人(30.0%)
情報通信業	1人(0.6%)
運輸業	6人(3.9%)
卸売業、小売業	46人(30.0%)
金融業	1人(0.6%)
不動産業	7人(4.5%)
学術研究、専門・技術サービス業	3人(1.9%)
宿泊業	2人(1.3%)
飲食業	1人(0.6%)
生活関連サービス業	8人(5.2%)
教育、学習支援業	1人(0.6%)
医療、福祉	4人(2.6%)
その他サービス業	9人(5.8%)

地域貢献

地域の繁栄は、金庫の繁栄。地元経済の振興こそが信金の務めです。

お客さまの預金について

当金庫の平成29年3月末の預金積金残高(譲渡性預金を含む)は2,702億円です。お客さまからお預かりした大切な預金は、皆さまから信頼をいただいている証であります。

今期の決算について

市場金利低下の長期化により収益環境は厳しい状況にありますが、合併による財務基盤の拡大や与信コストの減少等により最終利益であります当期純利益は383百万円の計上となりました。

営業区域における経済環境は引き続き厳しい状況にありますが、地域の皆さまに必要な金融機関であり続けるため、今後とも健全経営に努めてまいります。

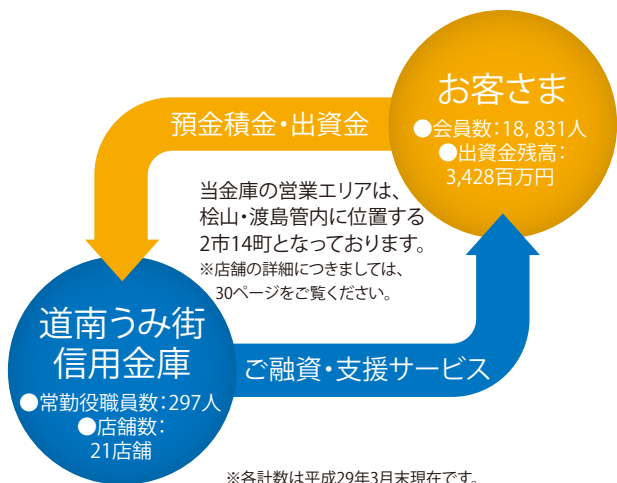
お取引先へのご支援等について(地域との繋がり)

- 中小企業者や個人事業主の皆さまの経営に少しでもお役に立てていただければとの思いから、地域内の経済情報を収録した「地区内経済概況」、「月別概況」や「営業地区内企業の景気動向調査結果」、業界経済情報誌である「経営情報」等の各種経営情報をお届けしております。
- 個人のお客さまが希望した場合、生活に密着した各種情報が満載されている情報誌「楽しいわが家」をお届けしております。
- お取引企業と「うみしん職域サポート協定」を締結することで、経営者を含む従業員に対して当金庫の取り扱う金融商品について、金利優遇等のサービスを始めました。お取引企業は従業員が定着し、健康で文化的な生活を営み、生活の安定と向上等、福利厚生面でお役に立てるといったメリットがあります。
- 高齢者等への課題対応等地域住民サービスの一環として、当金庫店舗所在地13市町のうち10市町と「高齢者等の地域見守り活動に関する協定」を締結しております。締結させていただいた市町と連携して、複合的且つ重層的な見守り・安否確認の仕組みを構築し、高齢者等の孤独死防止に寄与するため取り組みしております。今後は残り3町とも締結して参ります。
- 地域経済の低迷が続く状況下であり、平成29年1月の当金庫合併時には審査部企業支援課を「企業支援部」として昇格・独立させ、地域のお取引先への支援に係る本部機能の強化を図りました。企業支援部は営業部と一体となって業績低下に苦慮しているお取引先の相談を親身に受け、打開の為の財務改善策等アドバイスを行っております。
- 当金庫は、財務改善計画に向けた積極的な取り組みを継続的に行っており、融資担当者を中心とした勉強会を開催し、担当者の能力向上に努めております。

当金庫の地域経済活性化への取り組みについて

当金庫は、松山・渡島管内に位置する2市14町を事業区域として、地元の中小企業や住民が会員となって、お互いに助け合い、お互いに発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の金融機関です。

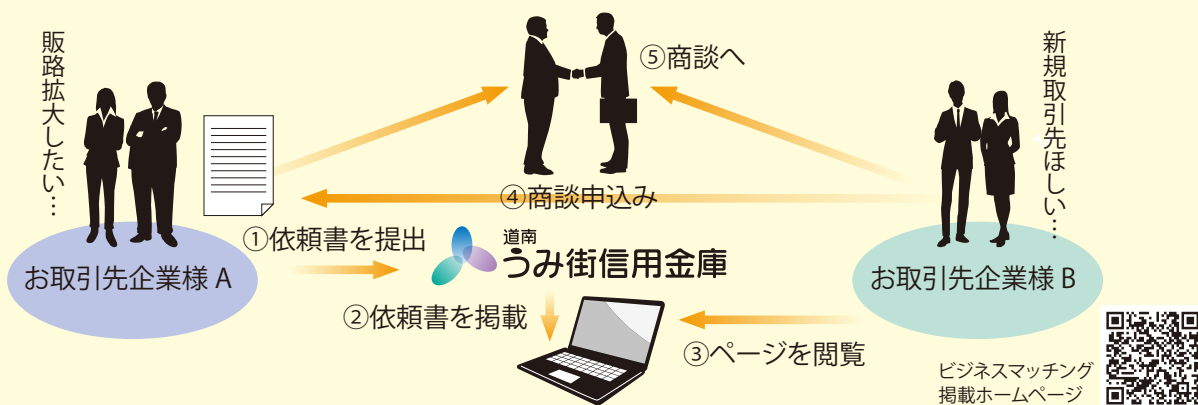
地元のお客さまからお預かりした大切な資金(預金積金)は、地元で資金を必要とするお客さまに融資を行って、事業の繁栄や生活の安定のお手伝いをするとともに、地域社会の一員として地元の中小企業や住民との強い絆とネットワークを形成し、地域経済の持続的発展に努めております。また、金融機関の業務提供にとどまらず、文化、環境、教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでおります。



うみしんビジネスマッチング応援

当金庫のホームページ上にビジネスマッチングページを掲載し、お取引企業の事業展開を応援、事業パートナー等と出会う機会を提供させていただくサービスを実施しております。お取引企業のビジネスマッチングにかかるニーズ情報(販路の拡大等)を掲載することにより、新しいビジネスへと繋げていただくことを目標としております。

掲載件数: 152件(平成29年3月31日現在)



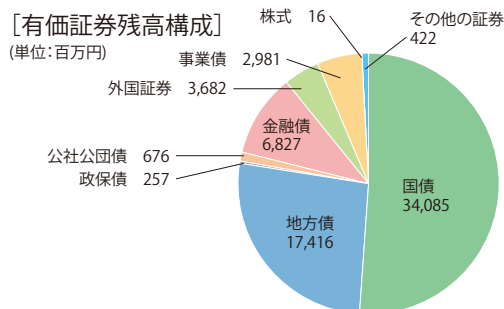
ご融資以外の運用について

当金庫はお客さまの預金を、ご融資による運用の他に有価証券等による運用も行っております。

有価証券運用は、格付けの高い公社債等を中心に各種リスクに十分配慮し、安全な運用に努めております。

この他、即日換金可能な信金中金定期預金等への預入により、流動性リスクについても十分配慮しております。

有価証券残高/66,366百万円
預け金残高/94,354百万円



※金額単位未満および小数点第3位以下は切り捨てて表示しております。
※各計数は平成29年3月末現在です。

地域のお客さまへのご融資について

当金庫は、預金者に対する責任に応えるべく、出資者である会員の皆さまへのご融資を基本として、地元中小企業の健全な発展と地域社会の繁栄に向けて、多数者利用の原則に基づく融資を心掛けております。

当金庫の平成29年3月末の貸出残高は下図の構成となっております。

〈貸出の運営方針〉

1. 地域に貢献する中小企業に対して積極的に支援いたします。
2. 大口に偏重することなく、多数のお客さまにご利用いただけるように徹底し、信用リスクを分散いたします。
3. 業種の片寄りを可能な限り是正し、バランスのとれた運用を行います。

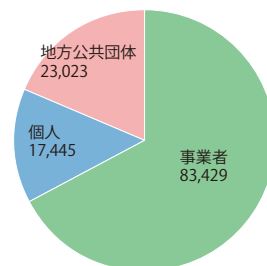
なお、地元中小企業や地域社会の皆さまの様々な資金ニーズに応えるため、制度融資資金をはじめ、各種商品を取り揃えております。

※取扱商品につきましては、24~25ページをご覧ください。

貸出金残高/123,898百万円
預金積金における貸出金の割合/45.84%
設備資金/68,293百万円
運転資金/55,604百万円

[貸出金残高構成]

(単位:百万円)



トピックス

平成28年度の主なできごと

6月21日	第73回通常総代会を開催 (於:江差町 ホテルニューえさし) 第93期通常総代会を開催(旧函館信用金庫) (於:函館市 マリエール函館)
7月1日～10月31日	セーフティラリー北海道2016へ参加(参加167名)
8月29日	第35回江差しんきん年金友の会総会を開催 北海道警察函館方面本部生活安全課より「特殊詐欺の被害に遭わないために」の講演会を開催 ～アトラクション「中村美津子コンサート」(於:函館市市民会館 参加830名)
9月3日	全店一斉防災訓練を実施(各町消防署が協力)
9月10日・11日・ 17日・18日・22日	第2回函館・檜山・渡島 江差信用金庫杯少年軟式野球大会を開催 (於:函館市千代台公園球場(函館オーシャンスタジアム)・江差町運動公園野球場・西桔梗野球場・ 根崎球場・香雪園球場・石川公園球場・浜分近隣公園球場・新川球場・北斗市運動公園 参加54チーム)
9月21日	第18回江差しんきん年金友の会パークゴルフ大会を開催 (於:「松前町ふれあい公園パークゴルフ場」 参加94名)
11月1日～2日	第20回江差しんきん年金友の会「一泊旅行」を実施 (新幹線で行く「盛岡」と「世界文化遺産“中尊寺”」の旅 参加46名)
11月8日～11日	第36回はこしん年金友の会「一泊旅行」を実施 (北海道新幹線で行く南花巻温泉の旅(1班:11月8日～9日、2班:11月10日～11日) 参加46名)

12月12日

乙部支店新築オープン!

新築移転した乙部支店は、広い間口でお客さまを迎える気持ちを意識した門型の外観と余裕のある駐車スペースを備え、「ロビーのオアシス化」を掲げロビーの広さはゆとりの1.8倍、高い天井と天窓から自然光が入る開放的なくつろぎのコーナーや車イスでご利用できる多目的トイレを設置し、お客さま思いのおもてなし設備を充実させました。

「ホタテ漆喰」と「道南杉」を内装に用いて、洋風な形態の中にどこか懐かしく「和」を感じさせる空間を演出いたします。

皆さまのご来店を心よりお待ちしております。

